

地理教育は社会に出てどのように役立つのか — お茶の水女子大学地理学教室を例に —

長谷川 直子・滝沢 由美子・沼畑 早苗・土屋 久美

I はじめに

2016年5月に行われたお茶の水地理学会（ホームカミングデイを兼ねる）では、現役の学生とOGとが共に議論できる共通話題として、「地理教育は社会に出てどのよう

に役立つのか」をテーマにした座談会を行った。お茶大の地理教育が社会に出てからどのように役立ったのかを、OGはすでに経験談として語れ、在校生はその経験談に興味を持つと考えたからである。

表1 地理教育が社会へ出てどのように役立ったか

職業(元含む)	コメント
教員	卒業後20年間東京の公立中学で社会科教師を務めたときはもちろんのこと、結婚後3回転居した先々の土地に興味関心が持ててすぐ馴染め、地域社会の一員として仲間と共に活動する生活を今も続けている。
	・卒業後40年近く中・高校の“地理”を専任および非常勤講師として担当。・定年後、10年余りカルチャースクールで“地理”を“大人の旅行”の面から講じてみた。・日本は離島を含めほぼ全土、外国も80カ所を興味を持って訪ね得たのは、地理を学んだおかげ。
	高校で社会科の教師30余年。教育現場での土台となりました。受験科目として敬遠され、おかげで自由奔放に楽しく“地理って楽しい”を実現できたかも。
	卒業後約5年間、教職に携わりました。そして現在までの約20年間は日本野鳥の会会員としてささやかながら自然保護活動、特に千葉県谷津干潟の埋め立て反対の署名活動を致しました。
	地理教師でしたので、基礎を学んだと思います。実践にはそれらの勉強が大切です。
	空中写真を判読できるという点が大きな利点となった。国土地理院の実習等から技術と資格の取得につながった。
	ほんの短い間教職に就いたのみで地理教育を役立てるまでにはいきませんでした。これからのグローバルな社会に地理はとて必要だと思います。これからの社会に必要な地理教育をして欲しいと思います。
	中高の社会科教師に携わることができました。
	地理講師(中高私立)をしました。
	教員としての職を得たこと、自然を人文科学について総合的に考察する力を得たこと、旅行の企画力ほか行動力を得たことなどが挙げられます。
	42年間も高校の地理の教師をすることができました。
	授業をするときも自分の研究に取り組む際も全ての土台になるものです。
	マスコミ
日々の暮らしや旅の途中で見聞きするもののとらえ方、考え方、楽しみ方が多方面になる。塾講師の仕事の中でも地理の楽しみを伝えられる。	
ものの見方や考え方の土台(基礎)となっているように思います。	
地理の教員をしておりますので、大いに役立っております。もし教員になっていなくても、旅行の時に車窓からの風景の見方や地域の見方に地理的要素が含まれて、楽しみが増えていると思います。	
仕事をすることでとても役に立っているし、世の中を理解するたびに地理は必要不可欠だと感じています。	
地理教育の場にいるため、直接役に立っています。プライベートでは子供に地理を教えたり、ニュースを見たりするときに役に立っていると思います。	
社会に出てある時期(18年間)地理学でない組織で多くの経験をしました。外国人についても地理を考えさせられた経験をしたことがあります。	
テレビディレクター、フリーライターの本業、原稿づくりにある事象をいろいろな角度から見るように心掛けたのは地理学のおかげだと思う。	
雑誌の編集部にも長い間おりました。人が多く集まって住むところ、昔から住んでいるところには必ず理由があります。それを突き詰めて考えるくせは地理教育の賜です。それが次なる思考のステップになりました。	
編集者は幅広い知識が必要なので参考編集時はもちろん小説や漫画を編集する際も地理で学んだことが大変役立っています。	
「ブラタモリ」が楽しく見られる。ロケ地・取材地の地理的背景の見当がつく。	

次ページに続く

表1 地理教育が社会へ出てどのように役立ったか(つづき)

公務員	勤務先では地理学を直接的に生かせる職務には携わってきませんでしたが、旅行や街歩きは単なる観光ではなく巡検のように充実した内容を楽しんでいます。 地方公務員(技術職)として日々業務を遂行するに際し、大学で学んだ知識(方法論等を含め)が役立っている。今年度より同じ部署に私以外に2人も地理学科出身者(ともに首都大・地理)が在籍し、人材として求められていることがうかがえる。
一般企業	残念ながら役立ったと思ったことはありません。地理教育を通して研究対象を深く調査・分析する方法論を体得しておけば「役立った」と言えたなあと思います。 フィールドワーク。自分の足で情報を得る。 小中学校の副教材を作る仕事をしておりませんが、直接的にはいかせていません…。でも自分の勉強不足のせいですので。 何か物事を考えるときの軸足となっているように思え、感謝しております。
その他・無回答	空中写真の立体解読から、地形・植生などを読み取り土地条件、土地利用図にまとめ、自然災害(洪水、土砂崩れ、地震断層など)の予防や都市計画等に利用される基本図の作成に役立った。 「海外からの留学生を支援する会」を60歳の時に立ちあげました。主に日本語教育ですが、地理を学んだことが大きな力になりました。 仕事の上でも生活の中でも考え方の基本の一部となっていて常に役立っています。 地域の方と話しているときに視点が違うと言われることがあります。点とか線ではなく大きな広がり、時には鳥の目で見ているように受け止められたことがあります。 一生のテーマとなった地図は地理からの延長線上にありました。 一般常識として役立ちました。特に環境問題が重要課題となり、地震や災害の多い分、大切な知識です。 巡検を通して現場で地図を読み解く力と自分の目で見てその空気・水・地に直接触れ判断する力を得た。足腰が鍛えられ、忍耐力や適応力がついた。etc… 私共の時代は、自然地理学と人文地理学全てを習い、卒論も両方の内容を含みました。地理的思考の基礎が、人を取り巻く感染症の解析に、GISの導入にも役立ちました。 考え方のベース、科目については予測性も。 日々の生活の羅針盤です。 未知の土地に対する興味がつねに強くていろいろなところを訪ね歩くことが自分のライフワークになっているように思います。 地図を書く(略図含む)調査専門の仕事では気候や地質、文化の背景を盛り込んでレポートを作成した。 地図を意識すること。巡検で聞き取りをしたことが経験になっていること。 就職には直接役立つということはなかったが、実社会で生きていく中でものの見方、考え方には地理を4年間学んだことが多少なりとも反映されたとは思いますが。 地理を活かすような職業に残念ながら就きませんでしたが、20~30代に興味を持っているいろいろな国に行き地図を持って散策し楽しむことができた。 国内外問わず出張で一人になっても地図さえあれば食事や買いもの、移動が問題なくできるくらいです。 仕事にしろ社会問題にしろ地理学的視点からも見られるようになったと思います。 なるべく地名を知ろうとするようになった気がいたします。 文献調査、フィールドワークを踏まえて文章を書くという作業を学ぶことができたことは役に立っていると思いますが、「地理教育」という分野に限ったことではないのかもしれないです。 学生時代のフィールドワークを通じ、現場に出る前に十分下調べを行う姿勢が身に着いたと感じます。また、物事を多角的にとらえる(考える)基礎ができたおかげで、業務上の課題に柔軟に取り組めていると感じます。 出先で地図を見て行動できる。建築物の名前の由来に思いをはせたり地名の入った商品に販売戦略を感じたりちよびっと深く考えるようになった気がする。 欠員無く史学科入学叶わず思いつきで書いた第2希望地理学科に入学できて幸せでしたと心から思います。地理の面白さ、他学問との密接な関係など新鮮な驚きばかりでした。さらに、巡検を通しての先生や友人たちとの楽しく穏やかな交流、卒業後の職場での人々との触れ合い、お茶の水地理学会事務局を通じての教室の先生方や先輩後輩の方々との交流、全て心から宝物として、今の私の糧となっています。幸せに思います。

II 座談会前に集めた質問とコメント

座談会を行うにあたり、OGからは当日の会の出欠ハガキの余白に「お茶大の地理教育が社会に出てどのように役立ったか」を書いてもらう欄を設けた。当日欠席予定

のOGを中心に50件近いコメントが寄せられた(表1)。また、現役学生には、長谷川が担当している授業の受講生(1年生を中心に50名ほどの履修者がおり、地理学コースへ進学する学生とは限らない)に対して、卒業生に聞きたいことを書き出してもらった(表2)。特に多かった

質問は「地理が仕事の中でどのように役立ったのか?」、 「大学で学ぶべきことは何か?」の3点だった。本稿で「中高の地理教育が暗記中心であることへの疑問」、 は、資料的役割を考慮し、全てのコメントを掲載する。

表2 学生からOGへの質問一覧

カテゴリ	自由記述	所属	学年
地理専攻	なぜ地理学を専攻しようと思ったのか?	人文科学科	2
	どうして地理を専攻したのですか?	人文科学科	2
	地理学を専攻して、辛かったり苦しかったりしたことがあれば教えてもらいたい。そもそも社会に出て役立つと思って地理を専攻したのが自らの興味関心から選択したのか。	人文科学科	2
	地理を専攻して失敗したと思ったことはありますか?	人文科学科	2
	限りない分野の中からどうして地理を選んだのですか?	人文科学科	2
	ご自身の経験から、地理学を学んで良かったこと悪かったことは何ですか?	人文科学科	1
	地理学に興味関心を抱くようになったきっかけは何か?	人文科学科	1
地理/中高	大学でする地理の学習と、中学・高校でしてきた地理の学習が全く異なるのでとても驚いたのですが、中学・高校で得た知識も無駄にはならないのでしょうか?	人文科学科	2
	「知識」を覚えるだけになりがちなか・高の地理教育についてどう思うか。今度、どのような方向づけが必要か。現状維持で良いのかどうか。	人文科学科	2
	中学・高校における地理教育が、受験のための学習で終わっているように感じるが、社会に出て役立つ中高生のための地理教育はどのようなものか。	人文科学科	2
	私は高校のとき、地理を選択していましたが、小・中の地理とは全く違う教育内容でした。ただただ受験のために暗記をするというものだったのですが、このような教育は地理教育といえるのでしょうか。	人間社会学科	2
地理/生活	地理を高専で学ぶ際、私の学校は(文系は)選択科目で地理を学ぼうとする人は少数でした。地理学を大学で学んだ方々としては「高校での地理の教育を必修にすべきだ、したほうが良い」という考えはやはりあるのでしょうか?	人文科学科	1
	実生活で地理学はどのように生かすことができると考えますか?	人文科学科	2
	地理学の勉強が日常生活にどう役に立ちましたか?	留学生	
	高校のときの地理の先生が「地理はこれからの人生で一番(社会科の中で)使える科目だ」とおっしゃっていましたが、それについてはどう思われますか?	人文科学科	1
地理学専門で勉強した知識は現実の社会問題の解決にどんな役立ちがありますか?	留学生	1	
地理/職業	今働いている仕事や活動では、地理のどのような知識や経験が活かされているのか?	人文科学科	3
	社会に出る際、地理の知識が役立つ職かどうかをどれくらい意識して進路を決定したのか?	人文科学科	2
	地理関係の仕事はどのようなものがあるのか。	人文科学科	2
	地理学コース卒業後、研究職以外だと地理に関わることのできる仕事はあるのが気になります。	人文科学科	2
	地理学を生かして就職しようとした場合、どんな企業に就職することを考えていましたか?	人文科学科	2
	就職を考えるとときに「地理学」を生かして仕事に就こうと思っていましたか?	人文科学科	2
	私は地理にはあまり詳しくないのですが、将来私の興味のある分野でもある教育行政に関連する職業に就きたいと考えている人々には、学生の間に地理を学び、将来役に立つことはあるのでしょうか?	人間社会学科	2
	地理的思考はデスクワーカー(事務や経理)をするにあたってどのような場面で有効に活用できるのか?	人文科学科	1
	私は地理学を兼年から本格的に学びたいと思っているのですが、大学で学んだことを生かした就職はありますか?	人文科学科	1
	私は町づくりや地域おこしに興味があり将来はそういった活動をやりたいと考えています。そこで大学で地理を学び役立てたいと考えているのですが実際に仕事で地理がどういった場面で役立っているのかを教えてください。	人文科学科	1
	なぜ大学で地理を専攻しようと思ったのか?興味があるからだけでコース選択しても大丈夫ですか?就職とか不安です。	人文科学科	1
	地理の知識はどのような職に生かされますか?	人文科学科	1
	地理がどういった分野や職業で発揮されているのか。	人文科学科	1
	卒業した後どんな仕事をしますか?仕事は地理学と関係がありますか?		1
地理に関する仕事の話があれば教えてくださいませんか?	人文科学科	研究生	

表2 学生からOGへの質問一覧(つづき)

大学の地理学	在学中に楽しかった、あるいは関心のあった地理のテーマや活動・授業は？	人文科学科	3
	地理教育が社会に出て役立つとしたら、それは仕事の場面においてなのかそれとももっと個人的な場面においてなのか聞きたいです。	人文科学科	2
	幅広い年代の方がいらつしやるようなので年齢ごとの(地理が)役立つ割合もお聞きしたいです。	人文科学科	2
	”地理安”などというようにお茶水地理の学生がメディアに取り上げられたことに対してどう感じられていますか？	人文科学科	2
	地理について学ぶことの魅力は何ですか？	人間社会学科	2
	私は主プロで社会学・副プロで地理環境を選択しているので、このテーマには非常に興味があります。「地理教育」とは具体的に何を指しているのでしょうか？ITの普及で、場所を問わず、さまざまな人と関わるのが容易になっていますが、そういった技術の進歩は地理学を学んでいく上でどのような影響をもたらすとお考えですか？	人間社会学科	2
	地理教育についての質問は、地理教育とはなんなのかということを知りたいです。	人間社会学科	2
	地理教育が目指すべき目標のようなものとはなんだと思いますか？地図を見て、知らない土地を一人で歩けることが目標なのか、日本のさまざまな地名を暗記することが目標なのか、教師を目指している立場ではありますが、わかりません。先輩方のご意見を頂けると嬉しいです。	人間社会学科	2
	私は少し方向音痴な部分があるのですが、地理を学べば少しは改善するでしょうか？	人間社会学科	2
	社会学や経済学、開発学などの似通った分野と地理学の違いは何なのですが、またその中で、地理学だからこそ学べることは何ですか。	人文科学科	1
	まだ、地理学をあまり知らないで、学んだ際のメリット(活かせる点)などがあれば知りたいです。学んで地理を知ることで、多くがわかるようになるのでしょうか？	人文科学科	1
	ジェンダーの授業で、「地図の読めない女」という科学的根拠なき偏見は、男性から女性をエスコートするものだという押し付けからくるものだともいえると紹介されたが、地図をたくさん読んできた地理学科の先輩方は、この意見についてどう思われるか聞きたい。私はこんなところにも男尊女卑の風潮が垣間見れることにショックを受けている。「地理×女子」の発刊にあたり女子が地理をやるとかという批判も一部あると耳にしたこともあるので、そのこととも合わせてどう思うのかを知りたい。	人文科学科	1
	産業地理と社会地理は実践的だと思うのですが、自然地理がどう社会に役立つのか？	人文科学科	1
	地理を学んでいるうちに発見した世界規模の問題を解決しようと何が具体的なボランティアなどの活動を行ったことはあるか？	人文科学科	1
	地理教育の「何」を一番、「今」学生である人たちに教えたいか。	人文科学科	1
	大学で地理を学んでおいてよかった～！と心から感じたときはありますか？あったとしたらどんなときですか？	人文科学科	1
	地理学コースを卒業されて、ご自身の中に残っているものは何ですか？(もののどらえ方や考え方、またはご自身の行動に影響を及ぼしたもの)	人文科学科	1
	私は地図を見たりするのは好きですが小学校や中学校で暗記させられた都道府県や各国の地理を覚えるのが不得意で地理に苦手意識があります。大学で学ぶ地理学の全体像がなかなか想像つかないのですが実社会に役立つのはどんな内容についてなのか教えていただきたいです。	人文科学科	1
	地理教育を受けて地理教育への印象がどのように変わったか教えていただきたいです。また、地理を専攻しない場合、どのような分野や範囲に関心を持っていると生きていくうえで地理を生かせるのか知りたいです。	人文科学科	1
	私はこの春に上京したのですが東京という町を知るためにもほぼ毎週末一人で都内のさまざまな場所を散策しています。学生時代一人で行って面白かった場所、特に印象に残っている場所(地理を学ぶ学生の視点からして)があれば教えてください。	人文科学科	1
地理の学習というか人文系系の学問は(私はとても楽しいと思いますが)それが直接企業に入って役立つという機会が他と比べ少ないのだからかと思いますが。案外直球で役立つこともありますか？それとも学んでいくときに用いた(スキルを上げた？)技術や考え方を生かしていくと考えるべきなのでしょうか？	人文科学科	1	
また、日常生活で地理を学んでおいてよかったこと、地理を学んだからこそよく遭遇すること、知りたいです。	人文科学科	1	
地理学コースで学んだことで、卒業後に役立つことはありますか。もしあるならどんなことですか。	人文科学科	1	
私は高校で全く地理を勉強していなかったのてつい地理学を敬遠してしまいます。高校までの地理と地理学は全く違うと聞きますが具体的にどう違うのかを知りたいです。	人文科学科	1	
「地理」という広い分野の中で役立つやすいもの立ちにくいものはそれぞれ何が、その差は何だと思ふか。	人文科学科	1	
暗記地理(地名、国名)が苦手でも地理学に進めるか？	人文科学科	1	
地理学と一言に言ってもさまざまな分野に分かれています。その中で”今”一番学ぶことが必要なのはどの分野だと思われるか。	人文科学科	1	

表2 学生からOGへの質問一覧(つづき)

大学の学び	お茶の水女子大学でどのように過ごせば、自分の成長につながるのか。	人文科学科	2
	最近、英語への関わり方に疑問を感じる人が多いのですが、卒業後英語はやはりとても役立ちましたか？それとも何か一つの物事(例:フェアトレードなど)について深く学ぶ方が貴重な体験となるのでしょうか？	人文科学科	2
	今、大学で授業を受けていて、今まで自分が知らなかったさまざまな問題に直面し、同時に学生の身では解決が困難なことに、ママらな～い思いをすることがあります。社会に出て働いていく中でさらに困難に直面することもあるでしょうが、何かしら、自分が問題に感じていたことを解決・達成感を得る機会は本当にあるのでしょうか？そのとき、自分が学んできたことは役立つのでしょうか？	人間社会学科	2
	大学で学んだこと(地理に限らず)が活かされたなあと思うときはどんなときですか？	人文科学科	1
	現在の世界には数多くの問題があり、それらは一つの分野では収まらず、さまざまな分野にまたがった問題であることが多いと思います。しかし、大学ではじっくり一つの分野を学ぶ学生も多数いると思います。なるべく多くの分野のことを学んだほうがいいのでしょうか？	人文科学科	1
	大学4年間(もしくは大学院2年間を含めて)に学んだことの中で、最も社会で役立ったこと、もしくはやっておいたほうが良いことが知りたいです。	人文科学科	1
	もしも大学生に戻ったとしたら勉強したい科目なども気になります。	人文科学科	1
	個人的には、大学で学ぶことの一つ一つは直接的に社会に出て役に立つとは思いません。さまざまな分野の理解を深め、それを自分の中で整理してから、それを自分でどう役立てられるかが肝心だと私は考えるのですが、どうお考えですか？	人文科学科	1
	今学業に就いている私たちに追加で目を向けておいた方が良いと思うものがあればご回答ください。	人文科学科	1
	人文科学は理系の学問と比べて社会に出たときに役に立たないと言われるのですが卒業生の皆さんは社会に出てみて理系との差は感じますか？	人文科学科	1
	大学で自分が研究した学問は必ずしも職に結びつくとは限りませんか？	人文科学科	1
	人文系の学問知識以外に勉強しておけばよかった、知っておけばよかったという学問知識はありますか？	人文科学科	1
	大学で専門に学んだことを普段仕事に生かせない職業に就かれた方は大学での学びが役立った場面はありましたか？	人文科学科	1
	中学～大学で学ぶ知識を社会に出てから机に座って学ぶことはなかなかないと思いますが、やはり経験的に残っているのでしょうか？日常の中で有効活用したエピソードなどあれば教えてください。	人文科学科	1
	大学生	大学生がすべきことは何か？	人間社会学科
大学生のうちにやっておけばよかったと後悔されることがあれば伺いたいです。		人文科学科	1
大学生である4年間は今から振り返ってみるとどのような時間でしたか？		人文科学科	1
女性	大学を出て働いているときに、女性だということがハンディになったことはありましたか？	人文科学科	1
	女性が社会に果たす役割はなんだと思われますか？	人間社会学科	1
女子大	「女子大学」でよかった、と感じたエピソードを教えてください。	人文科学科	2
	「女子大学」の卒業生であることで他の人と違うなど思ったこと、また周囲から違うように見られることはありますか？あるとすればどういったことでしょうか？	人文科学科	1
	女子大で学んでよかったと思うことは何ですか？	人文科学科	1
職業	発展途上国が抱える問題や国内外の地域開発に興味があるので、そういったご職業の方がいたらお話を聞きたい。	人文科学科	1
	なぜその職業を選んだのですか？	人文科学科	1
	大学を出た人と高校を卒業してすぐ働いた人と何か違いを感じる点はありますか？	人文科学科	1
	卒業後の就職はどの分野に進んだのか？(地理と関係なくても)	人文科学科	1
社会	社会に出て一番大学時代に戻りたいと思ったのはどういうときでしたか？	人文科学科	1
	科学技術が非常に発展している今日、人文系の学問は社会や人々の生活に対して何ができると思いますか？	人文科学科	1
	大学から社会に出て、一番違和感を感じたことは何ですか？	人文科学科	1
	何を通して社会貢献しようと思われていますか？	人間社会学科	1
お茶大	当時のお茶大と、変わってしまったところ・同じところはありますか？	人文科学科	2
	ご自身が学ばれていた頃のお茶大と今のお茶大で何が違うこと、変わったと思うことはありますか？それは良い変化ですか？悪い変化ですか？	人文科学科	1
	後輩の"お茶大生"に期待することって何ですか？	人文科学科	1
	お茶女で良かったと卒業後に思ったことはおありですか？	人間社会学科	1

Ⅲ 座談会当日

1. 3名のOGからの話題提供

はじめに桜蔭高校元教諭の東山セツ子氏から、お茶の水地理学会が発足した経緯、高校での教育経験をお話しいただいた。次に日本赤十字社の草山淳子会員から、日本赤十字社の仕事について、血液の地理学や募金活動などの点から話題提供いただいた。次に日本オラクルの滝沢(俣野)宏子氏から、アメリカ生活やその後の外資系企業での世界を股にかけた日常生活について話題提供いただいた。

2. 座談会

次に会場を巻き込んで議論した。事前に集まった質問項目が90近くあり、全てについて議論をすることはできなかった。特に質問の多かった3点について議論した。「地理が仕事の中でどのように役立ったのか?」と、「中高の地理教育が暗記中心であることへの疑問」、「大学で学ぶべきことは何か?」という3点の質問について、議論が交わされた。

3. 出席者の反応とまとめ

当日参加した現役学生ならびにOGには、座談会についてどう思ったかのアンケートを取った。その結果を表3および表4に示す。

表3 座談会出席現役学生の声(アンケートより)

学年	次回も参加したいか?	その理由	座談会に対する感想
	1 どちらとも言えない	地理学コースに進むかまだ分からないから。	「大学の地理は地面上の物語」というOGの方の言葉を聞き、地理学のイメージが一変しました。お話をくださった方々の職業は多種多様で、あらゆる分野で地理が役立っていることがよく分かったのでフィールドワークなど地理に関する授業・活動を大切にしたいと思います。
	1		人文科の学問はなかなか直接的に役立たないと聞いていましたが、今日の座談会に出て、地理は考え方や着眼点から生かせる広範囲に及ぶ学問であることが分かりました。また、江戸時代の天気や地名の由来も地理学に含まれることも初めて知りました。
	1 参加したい	将来の事やそのための準備などをお話していただけたので参考にできるし、先輩方が活躍されている姿がとても心強く感じましたからです。	さまざまな分野でお仕事されている方が多く、もっと自分の世界を広げていく必要があることを痛感しました。
	1 参加したい	お茶水の地理を勉強した人がどんなふう卒業後人生を歩んでいるのかさまざまな年齢の方から聞けて良かったです。	
	1 参加したい		滝澤さんのお話に関して、滝澤さんのキャリアの中で何度も他の人に「勝った」(言い方に難ありかもしれませんが…)タイミングがあったと思います。(インターンやリストラ)それについてはどういったところに要因があったと思われますか? どういった点で特に努力されましたか? *下へ
	1 参加したい	どこで役に立つかわからない情報を手に入れられるので人生の勉強になると思います。	地理がグローバルな世界に関係が深いとは思いませんでした。空間的なものの見方、ある物事を見たら関連する項目を考える力など地理が持つ力を初めて知った気がします。興味深い講演をありがとうございました。
	4 参加したい	議論をすることで多くの方の意見やキャリアをさらに知りたと思うと同時に来年からOGになる際に後輩達に自分の経験を基にした出来事を還元したいと思ったからです。	地理学を卒業されて社会で活躍しているOGの方の話聞くことができ良かったです。また、聞くだけでなく地理学コースの現役学生がOGの方に質問することを恐れている印象を受けもつたない、残念だと思いました。
研究生	参加したい		OGたちの話を聞いた後ますます地理を好きになったと思います。
院生	参加したい		
	1 参加したい	先輩方のいろいろなお話を聞けてとても有意義だったからです。	地理を大学で学びたいという思いが強くなりました。地理を学んだことで着眼点や空間的視野を身につけられて将来は何か役に立つと思うので、大学中に頑張って勉強していきたいと思っています。
	1 参加したい	卒業生のキャリアのある種の人生談を聞くのが楽しい。また、何に気を付けて学ぼうなどモチベーションが上がるのでまた聞きに来たいと思った。	大先輩方の貴重なご意見を拝聴することができて大変勉強になりました。ありがとうございました。
	1 参加したい	参加はしたいのですが、こちらからお話できることは少ないと思います。	キャリアのイメージを持っていない状態だったので今回のお話はすごく有り難かったです。
	1 参加したい	直に自分の質問に答えて頂けるので満足感があったから。	卒業生の方々が教育や企業の重鎮の方ばかりで緊張しました。地理の事も少しわかりましたし、自分も頑張らねばならないと鼓舞されました。
	1 参加したい	将来のビジョンの幅が自分は狭いためいろいろな人の話を聞きたいから。	もう少し時間を取ったらもっと盛り上がるのではないのでしょうか?
	1 参加したい	OGの方から直にお話を伺える機会はあまりなく、とても貴重な経験だと思うから。	
	1 参加したい	将来、地理を生かして職に就きたいと考えているから。	大先輩のお話を聞いて、いろいろな生き方があるんだなど参考になりました。
	1 参加したい	普段、これだけ人生経験豊富な先輩方のお話を聞くことがないので、もっといろいろ聞きたかったです。	さまざまな経歴・年代の卒業生のお話が聞けて参考になりました。
<p>* 学生さんのアンケート結果の中で、インターンやリストラなどで他の人に「勝った」理由は何だかと思うかという質問がありました。他の方々に勝とうと思ったことはないですが、もし選ばれたら嬉しいだろうな、でも落ちてても、この経験を生かして、またチャレンジすればいいやと思っていました。そこで、たとえば面接の際は、面接官だったら何が知りたいたろうと自分なりに考えて、事前準備や予行演習はきちんと行うよう努めていました。もしかしたら当日度胸がつくのに少し役立ったのかもしれませんが、あとは運と、ご縁と、日々の蓄積ですので、地道に着実に、小さな成功と失敗を繰り返しながら、毎日を積み重ねていくことが大事かなと思います。(滝澤(俣野)宏子氏より後日いただいた回答)</p>			

表4 座談会出席OGの声（アンケートより）

年卒	自由記述欄	座談会に対する感想
1963	旅をしても地形の成り立ち（NYのセントラルパークの石が氷河地形によるもの）気候・土壌など興味が深まり楽しい。批判精神も必要。アラル海周辺は自然改造ともてはやされたが今は公害とみなされている。地域を比較して理解できること。	よい企画をありがとうございました。
1966	学生からの質問一覧を添付で（メール）連絡つくところには送ってくださるとよいのでは？（この時間内では答えきれないので）	学生からの質問一覧に全て丁寧に答えたくまりました。今日の幹事会で議論とされましたが、「5月の総会時に在学学生などとの懇親会をやったら」という意見が出ました。次回に続けて答える会をやったと思います。
1976	<職業関連の質問の答え> 草山さんのお話にあった「だれでも気軽に話が聞ける」ということがあったが、地理学のフィールドワークは正にその力を磨くと思う。通り一遍のアンケートではなく久島さんから学んだライフヒストリー・インタビューをできたらどんな仕事についてたとしても力になると思う。<楽しかった・関心のあったテーマ> 3年の時自分の居住地の農業について調べてくるという「農地地理学」の課題。東京でそんなことが出来るのかと皆思ったが、調べてみると（73年ごろ）まだどの区にもちゃんと残っていてそれぞれ良いフィールドワークが出来た。<地理学が仕事に役立つか>（どの専攻科目でも直接～に役立つと言うことはないと思うが）地理的な物の見方（つまり空間の捉え方）は何事にも役立つと思う。これだけグーグルマップ上に何でも出せる世の中になっているとき、西欧の人々と対等に何か話すには地理学的要素は必須。西欧人は子供の時から地理を学んでいるので知らずのうちにグーグルマップを使いこなせるし、空間を地理的にとらえられる。	無回答
1981	防災・減災対策にもっと役立てられると考えています。	無回答
1989	お茶大の地理を専攻した理由：文理混合で学際領域のものの考え方が出来そうだった。（自然も文化も経済も学びたかった）また、フィールドワーク中心で実際の問題や生きている人々から学べそうだった。※高校では世界史専攻の理系でした。仕事で役立っているか：テレビ番組制作はまさに地理科で学んだことの延長です。（NHKの場合は…です）。地理から得たもの：ものおじせずに相手に尋ねられること、問題を感じ取る力、複層的な考え方、何よりも異なる考え方を受容する力です。	様々な分野で活躍する方たちの話を学生が聞ける良い機会だと感じた。就活などに向けても有意義なものではないだろうか？ざっくばらんに相談できる場としても座談会は継続できるとよいと思った。
1990	鉄道会社に就職して路線図や地図を見ることに苦はなかった。フィールドワークのおかけか何をするときも現場を見て納得するようになりました。	無回答
無回答	無回答	3人の方の職業の話が伺えてよかった。話がたくさん聞けて面白かった。時間が足りなくて若い人の発言まではいかなかった。

当日の参加者自体も学生が約30名と多かったこと、参加できなかった学生も含め、質問が90件近くあったこと、またOGからも当日参加できない人を中心に50件近いコメントが寄せられたことから、現役学生、OG双方にとって興味を持てる内容の座談会であったと思われる。そのことは、座談会に参加したOGならびに現役学生のアンケート結果からも読み取れる。特に学生からのアンケート結果からは貴重な学びの機会になったという意見が多かった。このような機会を発展させ、現役学生がOGを恐れずに気軽に仲良く意見交換ができるようになるのが理想的な環境のようにも思われた。

課題としては、今回のような座談会を初めて行ったこともあり、特に限定したテーマを設けなかったため寄せられた意見やコメントが多岐にわたり、一方ディスカッションできる時間が限られていたため深い議論ができなかったことである。始めに話題提供をいただいた3名の方のお話もそれぞれに内容の濃いものであり、短い時間で話をさせていただくよりももう少し一人の話題に時間をかけてじっくり聴く形の方が良かったと考える。これらについては、今後もし同類の座談会を行う場合があれば改善していきたい。

付記：本稿の作成にあたってはJSPS科研費（課題番号26580142「初等教育現場で教員が効果的に教科力を養える地域学習教育教材づくり」代表者宮岡邦任）を使用した。

はせがわ・なおこ
基幹研究院准教授

たきざわ・ゆみこ
一般財団法人地図情報センター理事長
ぬまはた・さなえ
お茶の水女子大学附属高等学校教諭
つちや・くみ
お茶の水地理学会事務局（2016年5月まで）

How to help the geographical education after graduate?

HASEGAWA Naoko, TAKIZAWA Yumiko, NUMAHATA Sanae, TSUCHIYA Kumi